

# 情報 ひがし労

第 15 号

2023年 8月 3日

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

## 堀口真明 中央本部執行副委員長の投稿が 7月31日付の「上毛新聞」に掲載されました！

生活サポートに汗をかく

堀口 真明 (安中市・59)

猛暑の県内各地で、困っている独居高齢者や、病気を患い力仕事ができない老夫婦の役に立ちたいと、休耕地の草刈り、立木の伐採、庭の除草作業、庭木の剪定、家の片付け、建具の修繕、廃品回収、墓掃除など生活環境整備支援を続けている。

作業後、きれいに刈られた畑や庭を見ると爽快な気分だ。一休みする間に、高齢者から生い立ちや土地柄、野菜の作り方や草木の種類について話を聞くのもためになる。お世話になりました。ありがとうございます。が疲れを吹き飛ばしてくれる。

この生活サポートのきっかけは、新潟県中越地震(2004年10月23日)の災害ボランティアと仮設住宅の独居高齢者訪問。東日本大震災(2011年3月11日)の救援物資輸送や災害ボランティア活動。被災者の癒やのためにヒマワリなど

「花を咲かせる」プロジェクト活動に携わってきたことにある。

そこから、困っている時に手を差し伸べていくヒューマニズムの大切さを学んできた。日常生活にも人の手を借りなければできないものもたくさんある。みんなで助け合う「共助」と、よく気がつき巧みに物事をこなす「才気」をもって、生活サポートを続けていく。



「生活サポート運動」では、組合員宅の「草刈り」「墓掃除」「家の改修」「有価物回収」「野菜の収穫」「引越しの手伝い」「苗床づくり」「イベントボランティア」など困った組合員のサポートを行ってきました。生活サポート運動の神髄は、三河屋運動です。お互いに支え合う関係を創造する。共助という社会構造を創造することです。私たちは、『抵抗とヒューマニズム』を基軸に日本労働運動をのりこえ、組織強化・拡大をし、横断的労働組合を創造します。